

# 追 究 する 心



### 「特別推薦入試」での受験者推薦のお願い!

今年の夏は、オリンピック・極暑・豪雨と、記憶・記録に残る年になりましたが、卒業生の皆様はいかが過ごされましたか？  
学校では、夏も終わり来年4月入学生の動きが本格化してきました。

ところで、皆様のお手元に、特別推薦入試の募集要項(緑色)は届いてますでしょうか。

今年から、学生さんをご紹介いただく場合は、この特別推薦入試で、皆様の推薦状を添えてお願いいただくことになりました。

※皆様にご推薦いただく特別推薦入試では、**入学検定料(20,000円)が免除され試験科目は面接のみ**となります。

もし、特別推薦入試の募集要項がお手元になければ、すぐにお届けしますので、お手数ですが学校事務局まで、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

柔道整復師・鍼灸師の資格取得

## 平成医療学園専門学校

TEL:0120-1049-91 URL:<http://www.heisei-iryo-gakuen.ac.jp/>  
〒531-0071 大阪市北区中津6-10-15

特別推薦  
募集要項  
2013  
HEISEI

COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGIES

学校法人 平成医療学園

平成医療学園専門学校

柔道整復師科 鍼灸師科

## 編集後記

厚生省は去る9月15日、百歳以上の高齢者の人数を発表したが、前年比で3620人増の5万1376人となり、初めて5万人を突破、過去最多を42年連続で更新した。

10年前の2.86倍、20年前の12.37倍にのぼる。しかし人口10万人あたりでは全国平均で40.20人。国内最高齢者は115歳の木村次右衛門さん(京都)で、ギネスブック認定の世界最高齢者でもある。現役医師として知名度の高い日野原重明博士(聖路加国際病院理事長)はこの10月4日で101歳を迎え、相変わらず10年先の講演予定まで詰まっているという。しかし初号は21年前(平成3年)“お灸博士”で有名な福岡市の原志免太郎博士(1882~1991)が、108歳で長寿日本一に輝いたことを忘れてはならない。奇しくも日野原博士と同じ10月4日生まれで今年は生誕130年。古来長寿の灸とされる「三里の灸」を自ら終生実践、患者にも「原式腰部八点灸」とともに施しつづけた東洋医学の成果であり、生き証人として模範を示した栄光の精華でもあったのだから――。

久米 建寿





七月二十九日(日)「雅祭」(学園祭)

# 『無料治療体験』実施



真夏の7月29日の日曜日に行われました。いつもはバスケットコートになったため、場所が足りず、第一、第二校舎の駐輪場に移動しが行われました。2階柔道場では、まず吉岡威典鍼灸科学科長によるTechniqueの略)という、「就寝前3分で出来る骨盤自己矯正法」がや、self-SPATの実施における具体的な手順の紹介があり、実際には骨盤の動きの中で、骨盤の歪みやその矯正を自身で行うことが

ヤー&パーソナルトレーナー池澤 智氏による講演会が行われました。ロセス、現在の仕事内容、池澤氏が指導する上で大切にしているこ

々々へ向けた、治療体験会が行われ、貞友会の重田院長をはじめ、北約50名の来院があり、近隣にも広くその存在がアピールできました。ナール参加学生によるアロマテラピーハンドトリートメントが行われ、ハンドトリートメントを行いました。植物の有効成分がリラクゼーションやリ体験後の参加者の表情は満足感で満ち溢れていました。その後のペサーの効果を伝え、お母さんもしくはお父さんにベビーマッサージのできました。告知していた通り、鍼灸と射的スーパーボールすくいを行いました。をお願いし、多数の方々へ使用済みの鍼をお持ち込みいただき、誠にありがとうございました。射的とスーパーボールすくいでは、来場者の子供達の憩

を緩めたから。

脚が温かく感じるのは、脚への血液循環量が増えたと思われるため。

残念ながら、足関節の痛みは股関節程の劇的な効果がありませんでしたが、脚への血液の循環量が増えている事と、その効果を説明したので納得していただきました。

この患者さん、近年のランニングブームに乗じて始められた初心者ランナー。そのため、ストレッチや体操の方法などきちんとわかっていらつしやらないようでしたので、その指導もおこないました。この患者さん以外にも市民ランナーを診させて頂く機会があり、その度に思うのが、腸腰筋のストレッチがきちんと出来ない方が多いことです。



図1のように正しい姿勢をしておらず、脚をより前後に開こうとする気持ち強く表れてか、図の姿勢から体幹を屈曲させている方が多く見られます。

股関節を伸展させて効果があるストレッチなのに、体幹を屈曲させてしまうと、股関節が屈曲位になるので効果があらわれません。もう一つ、患者さんに提案したのがノルディックウォーキングです。



これは、スキーマのストックに似た杖を両手に持ち地面に突いて歩く事で、次の効果があります。

ストックを使用することで通常のウォーキングよりも上半身の筋肉を使用します。そして、それは姿勢の改善に役立ちます。杖を使用することで3点支持、4足歩行になるので、脚への負荷が軽減されます。

この患者さんは、痛みがある時でも少しでも走ろうと頑張ってしまう患者さんです。

それでは、回数をかけて施術しても完治しません。最悪の場合、クレームをつけられてしまいかねません。具体的な今できる運動方法を提案してあげること、無理な運動を避けてもらえます。

今現在、この患者さんは走り始めの時に少しだけ違和感がある位まで症状が落ち着いているとの事でジョギングとノルディックウォーキングと併用しながらトレーニングに励んでおられます。

怪我をするほとんどの人が、間違った体操や、ストレッチをしているように思います。

ただ、困ったことに、施術者側が準備運動、整理体操をしているかと尋ねても、「している。」と答えられます。回数

をかけて、施術効果が見込めない場合、具体的にいつものようにしているかを見せられてもよいと思います。

そして、何もしていない患者さんもあるケースがあります。このようなケースは何をしてよいかわからない人が多いので、きちんと指導してあげること、より信頼関係を深める事が望めます。





# 症例あれこれ1 大腿部筋挫傷

平成医療学園治療所 院長  
重田 直登

## 「症例」 29歳男性

8日前にキックボクシングのスパarring中に相手に右大腿部外側後面にキックを受け負傷。受傷直後のアイシング処置しかしておらず、そのまま放置しておいたが、痛みが一向に引かず、下腿外側上端にまで痛みが現れ夜間の疼痛まで出現したため不安になり来院。



初検時、熱感・圧痛・腫脹・大腿部外側後面〜下腿外側後面にかけての皮下出血歩行時痛を認めた。

エコー診断機にて観察したところ、患部筋線維に広範囲の筋断裂を認め、血腫形成・炎症所見も見られた。

## 「経過・治療」

・初検日(受傷後9日経過)  
患部へのアイシングを15分ほど行い、超音波治療器、患部周辺の筋緊張も著名に見られたため、筋を緩めるような手技を施した。  
処置後、テーピングを損傷筋に合わせて貼り、安静を指導。

## ・2日目(受傷10日経過)

圧痛、荷重痛が残存するも、熱感、疼痛が消失し、歩行時痛も軽減。  
前回と同じ処置を行い、大腿四頭筋のストレッチも入念に行なった。

## ・3日目(受傷11日経過)

片足立ちでの荷重痛のみとなり、大腿四頭筋のストレッチを行うと張痛を若干訴えるが、日常生活での支障はほぼ消失したため、治療終了とした。

## 「考察」

・大腿四頭筋への直達外力による打撲の際は血腫形成を防ぐため、膝関節屈曲位にてアイシングを行う必要があったが、患者は伸展位でアイシングを行って

いたため、経過緩慢になっていた。  
ケガを軽視したことが何よりの治療期間の遅延因子となっていた。  
・幸い、血腫形成による骨化性筋炎にはならず、症状は消失したが、こうした直達外力による筋挫傷は骨化性筋炎に移行することがしばしば見られるため、早期の適切な治療が重要である。

# 症例あれこれ2 ランナーの 運動指導について

平成医療学園  
鍼灸科8期生・柔整科8期生  
土肥 慶太

折の既往がある為、足関節に背屈制限、足関節の緩みがある為、傷めやすい状態であると考えられる。

左足関節の痛みは、外果周辺からであり腓骨筋腱であった。そして、内反による骨折既往と背屈制限から前脛骨筋にも筋緊張が見られた。

足関節へのアプローチとして、寸6の3番鍼で腓骨筋腱と前脛骨筋への刺鍼と腓骨筋群への持続加圧。(緊張状態である腓骨筋群への刺鍼は、浅腓骨神経に当たりやすいので手技でのアプローチ。)

また、左股関節周囲の筋肉にも緊張状態が見られた。この部位の筋緊張は、足関節周囲の筋緊張から引き起こされたものと考えられる。股関節の筋群が緊張状態にあると、体幹〜脚〜足への血液循環がきちんと機能しない。そうになると、左足関節のみの治療を施しても、満足いく施術効果が得られない。

股関節へのアプローチとして、2寸5番鍼で殿筋群への刺鍼。仰臥位で股関節前面の筋群に手根部による持続加圧。大腿四頭筋、腸腰筋、殿筋群のストレッチ。

施術後、患者さんの感想は、股関節の屈曲が楽になって脚が温かくなったと。脚が楽にあがるのは、股関節の筋肉

41歳男性、5月のハーフマラソンのレース後から左足関節に疼痛を感じ、近所の整形外科を受診。シップ薬のみの処方と納得が出来ず、平日の通院が難しい事もあり、日曜日に患者宅へ往診。  
18歳の時に左足関節内反による骨

例年は4月に行われていた雅祭が、今年あった模擬店も今年は一年生が参加する事だ。また、第二校舎の各階では様々なイベントself-SPAT(Soutaihou-based-Pelvic Adjust)行われました。講演では操体法での動きのコツ参加者全員で操体法を行いました。参加者かできたと、大好評のうちに終了しました。  
次にトータルワークアウトのゼネラルマネージ池澤氏がパーソナルトレーナーになるまでのブなどを、熱く語っていただきました。  
一階の附属治療院では、近隣の住民の方野教務部長と新開先生が治療にあたりました。4階では、内野容子教員養成科学科長とゼミだ。5種類の精油の中から好きな精油を選びフレッシュ、美と健康を維持、増進するとあり、体験では、参加者にベビーマツ方法を覚えてもらい、各ご家庭で実践していた。今回、貞友会では前号やホームページでも鍼灸技術の向上を願う供養の場となりました。

# 鍼灸

来年も行います。  
皆様のご参加を  
お待ちしております。

普段お世話になっている鍼に感謝をこめて供養をさせて頂きました。供養した先生から患者様が増えたというお声も頂きました。





# “体のゆがみ”への効果

## 講義 III

「体のゆがみ」の原因の不明は、骨組みの構造に整合性のある見識がないからで、日常的に体を緩めると体が縮んで、体のゆがみが生じ、四肢も曲がって、O脚の変形性膝関節症では膝の痛みが起きますが、私自身が体験しました。中学生の時、担任の先生のお陰で私がO脚で、「生まれつきで治らない」ことを知りましたが、後に施術者養成の教壇に立つ傍ら、医療の見識を確認すると先生のお言葉通りでした。私は体を動かすのが好きですが、動かない日が続くと脚の外側に不快なムズムズ感が起り、医療の定説に逆らって「骨組織は3年〜5年に入れ替わる」を根拠としてO脚の矯正に挑戦しました。それは、姿勢を強引に改善するもので、骨組みを支持する《膜》構造による激痛との闘いでしたが2週間でほぼ完治しました。

骨の発生の大半は、「支持身体感覚系」の《膜》構造 Fascia を基盤にして軟骨組織が発生し、成長期の過程で骨組織に置き換わる、置換骨です。すると、本来の骨格系は「(関節を含む)軟骨組織と骨組織」で構成され、その骨格系を「支持身体感覚系」が支持して、骨組みは形成されています。

コラーゲンが主体の「連の」支持身体感覚系が、系統の器官を支持し維持する構造と考えると、骨組みは、本来の「(関節を含む)軟骨組織と骨組織」の骨格系を「支持身体感覚系」の《膜》構造が「内」側「外」二重にラップして、可動する構造体をつくっています。本来の骨格系を「内側」のラップが密閉すると骨が配列され、(関節を含む)軟骨組織の部分で可動・変形して「可動性を獲得」し、骨格系の外

形の骨間隙を「外側」のラップが筋の保護をしながら傘の布やビニールのように「可動域を制限」して、骨組みは形成されています。骨格系をラップする《膜》構造には、神経終末が密に分布するので、骨組みの状態や形の変化が感受されることから、「形運動・感覚」のある骨格系の構造(日本解剖学会学術集会2007年10月大阪大学)の演題で発表しました。生理学での深部感覚は曖昧ですが、《膜》構造に密に分布する神経終末は、骨組みの状態や変化を身体感覚として感受しています。

四肢や肩甲骨の周囲にある「支持身体感覚系」の《膜》構造に、万遍なく「すり圧」の他動的な筋膜ストレッチングを行い、他動運動の後、伸展位でストレッチして四肢を整え、背部・胸部の《膜》構造を動かしてストレッチングして、患者自身が伸びやかな「立ち方」「歩き方」ができること、大変な脊柱側弯症でも、それは爽やかな、別人に変身して治療します。医療では完全治癒は望めませんが、体のゆがみや椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症などは治ります。

今、くびレッチで格闘家のストレッチ・トレーナーが売っていますが、体形は反り腰

O脚で、オーラは：です。デモストレーションは、受け手がウェストに両手をあてがって肩を退いた状態で、術者は両手で受け手の後頭部と顎、そして、膝で受け手の「脊柱」腰部を支え、5秒間、強制的に体を反り返らせるウェストのくびれができますが、それは激しくて子供や年寄りにはできません。「腰椎部の生理的彎曲の前弯を強めてウェストのくびれをつくる」と説明されていますが、腰椎部の前弯が強まると骨盤が前に傾き、脚はねじれて曲がりO脚になります。脚は腰を伸ばさないと、真直ぐに伸びません。骨組みを支持する《膜》構造を加圧して変えるので、不自然な反り腰の癖が生じ、爽やかな別人への変身はできません。腰が伸びない、脚が伸びない状態に陥ります。

私のウォーキングは(踵↓土踏まず↓指)の土踏まず足法ですが、六本木ヒルズに住む提唱者の(踵↓小指↓親指)の三点足法は土踏まずを避け、足の外側で体を支えるのでO脚でした。本当のことに、気づくことが必要です。



Toshio Yoshioka

兵庫県西宮市生まれ  
甲南大学理学部卒業  
昭和49年〜平成12年  
私立アマ指、鍼灸、柔整師養成専門学校教員

昭和51年〜昭和59年  
国立大学解剖学教室研究生

昭和56年〜昭和58年  
私立短期大学講師

平成5年〜平成12年  
私立アマ指、鍼灸、教員養成課程教員

現職 アルタ治療院院長、平成医療学園専門学校専任教員  
筋膜療法/Fa・ther創始

日本解剖学会、コメディカル形態機能学会、全日本鍼灸学会 所属

『目で見る動きの解剖学(新装版)』(大修館書店) 解剖学担当監修 1999年

『変形/痛み』の治療革命(筋膜療法/Fa・ther) (たにくち書店) 2001年

『Fa・ther/筋膜療法異次元“体のゆがみ”の治療法』(たにくち書店) 2006年



卒業生も応援にかけつけました



J-GREEN 平成が占拠

### 堺サッカーフェスティバル



サッカーでも腕を負傷



以外と重い負傷者



肉離れ〜学生注目!!



ちようちよ結び教えたらか?



陸上競技会の放送みてね



献身的にケアしてます

### 吉本陸上競技会

7月21日(土)〜7月29日(金)に第3回堺ユースサッカーフェスティバルが「Jグリーン堺」にて行われました。近畿圏内の高校だけでなく北は北海道から南は沖縄まで、全国からサッカー強豪校が多数参加するこの大会も今年で3回目となります。

昨年と同じく、全14面あるコートを利用に使い1日40〜50もの試合が行われました。今年も多くは友人会会員の方々に、平成医療学園専門学校の教職員・学生たちとともに医療ボランティアとして参加していただきました。

高校生にとっては、選手権やチームの新チームのレギュラー獲得のためのアピールの場となり得るため、自然と激しいプレイも多く、骨折や脳震盪などの負傷者が出てきました。

試合中には次の様なケガが発生しました。

- ・コーレス骨折
- ・外果骨折
- ・鎖骨骨折
- ・半月板損傷に伴う膝関節ロック
- ・第5基節骨折など

この他、挫折や打撲などはもちろん、例年よりも日差しが強く気温が高かったため、熱中症が多く発生しましたが、ボランティアスタッフの的確な処置の甲斐もあり入院に至るような選手は二人もいなかったとのこと。

平成医療学園専門学校のブースでは、全柔協の先生方によるテーピングやスポーツ傷害の相談・治療が行われ、貴重な臨床の場となりました。

来年度も同時期にこのサッカーフェスティバルが行われます。会員の皆様方も是非ご参加ください。

平成医療学園専門学校 樋口朋基



# あの人は今...

平成医療学園を巣立っていった先輩や、同級生は今どこで何をしているのか？  
 どんどこで、どんな形態で仕事をしているのか？  
 毎号ピックアップしてご紹介。  
 もしかしたらあなたの知っている顔が出てくるかもしれませんよ！

## スポーツ大会



僕は死にましえ〜ん



夏の大スポーツ大会



水風船キャッチ



ささるよ



ドゥーン!

## 観音寺 トライアスロン



もうフラフラです



このパン欲しかったん

### こもれば治療院

院長 吉川 章一 先生  
 吉川 奈津子 先生  
 (旧姓 子浦)

ご夫婦で京都に開院し、  
 患者様にもとても親しまれているお二人です。

皆様に備わった自然治癒力を  
 発揮できる様にお手伝いする事が、  
 私達の仕事です。



開院されてからのエピソードなどはありますか？  
 衛生材料なのですが、めったに使わない物も一式揃えました。修業先で6年ほど勤めていた時にも一回も使用しなかった衛生材料も全て揃えたんです。そしたら開業して2週間目の前の道路で交通事故が起こって左足完全骨折で、いきなり使ったという...(笑) 備えあれば憂いなしですね。

開業するにあたって苦労などはありましたか？  
 場所探しに苦労しました。私達の治療スタイルが保険診療よりも、自費診療に向いていると感じていましたので、二人のどちらかの土地勘があり、そのスタイルを受け入れて頂けるような地域を探したため、物件を数多く見て回りました。目立つ場所に有るか近隣の駐車場があるかどうかは勿論のこと、物件周辺の街並みの雰囲気や、どんな年齢層の方が多いかなどか...。

卒業後どのような経緯で開業をされましたか？  
 在学中から奈良にある整骨院で下働きをしていました。その後、資格を取ってから雇われ院長という形で約1年程経験を積みました。妻の方は京都の整骨院で3年程院長をしていました。その後結婚して2人で開業という形になりました。

できれば新しい人を育てていく立場になればと思います。  
 職歴が増えればまた伝えたいことも変わるかもしれません。今一番伝えたいことは術者としての患者様との距離感です。先生というのはなんでも知っているから先生の言う事を全て聞いて言うとおりにして欲しいんだという上からの目線は違うと思うんです。かといって接客業でもあるこの業界で「お客様は神様です」という目線も違います。その距離感が難しい。勿論、個人個人距離感も違うわけ

今後の目標はありますか？  
 私は元々不動産の会社に7年勤めたこともあつて、接客や社会人としての一般常識の経験は、ありました。修業先では先生と呼ばれる立場の責任の重さや医療人としてのスタンスをたくさん学ばせて頂きました。そして、ひとりひとりの学んできたものを臨床の場で使ってもらいたいという、ある程度治療を自分で考え、組み立てて診させてもらえる環境でしたので、今すぐくそれが役に立つて感謝しています。  
 妻とも日常の会話の中で患者様のエピソード的な話はよくします。こちの方が患者様には良いのではないかなど、話はずきません。幸い分野がかわっていないので、施術に対してのチエックや細かい所までは信頼し合せて任せています。信頼することによって、良い雰囲気の中でできています。  
 そしてそれぞれの個性や持っているものを尊重しあうからこそ治療の幅も広がっていき

開院されるまでに修業先での経験があったわけですが、その間に得たことなどはありますか？  
 開院されるまでに修業先での経験があったわけですが、その間に得たことなどはありますか？

ですから、その人に合った距離感を保つことが大切です。斜め45度のな位置関係といましようか(笑)その斜め45度もその人その人によつて心地よい距離感が違うんです。自分を信頼させようとか、自分は凄いなと思わせようとか、かいつくろいも、たくさんの人と接してどうしたらこの患者様に貢献できるんだろうというエゴ抜きで施術すること、これを重ねた時に掴めるものかと思えます。そういう事をこれから新しい人には学んでいていただきたいなと思います。



患者様達が自ら  
 整骨院の1周年記念パーティを企画



ラグジュアリーな空間を演出しながら患者様にリラックスしていただける様、取って広めのスペースをとった院内



トライアスロン記念写真

7月8日日曜日、快晴の中カンバ大阪のホームスタジアムの万博記念競技場で「平成医療学園専門学校真夏の大会」が開催されました。今年度から新たに発足された学友会中心のイベントは松田学友会会長の開会宣言で始まり、短距離走、パン食い競争、水風船キャッチ、ムカデ競争、大玉ころがし、ラムネ飴食い競争、ヴォータックス投げと進んでいき、最終種目のクラス対抗リレーとなりました。クラス対抗リレーでは、エントリーされた教員チーム以外の教職員が参加し、アンカーは岸野理事長という豪華メンバーで参加しました。種目とは別に暑さ対策として、幼児用プールが3つ設置されていたのですが、これが学生達に大好評で、悪乗りした学生が先生方に水鉄砲や水風船をぶつけたり、プールにはめたりする場面もありました。競技も終了し、あとは成績発表を待つだけとなった時、クラス代表による400m競争が開催され、入賞者には理事長より金一封がプレゼントされるサプライズがありました。学友会メンバーのおかげで、学生と教員が触れ合える一日となりました。





# 藤本 誠先生

Makoto Fujimoto

## profile

阪急池田駅からすぐ近くの藤本整骨院 院長。ブログや看板を中心に多くの工夫を凝らし、患者様とのコミュニケーションを図っていらっしゃいます。

# 隣りの院 突撃!

皆さんは毎日どんな工夫をして患者様と向き合っていますか？私がつとておきの先生を紹介しちゃいます！

## 高木先生 イチオシ!



患者様の間でも話題の看板はこちら。毎日が書いてあるのか、楽しみになります。

患者様とのコミュニケーションのツールになっているわけですね？

そうです。看板の内容が患者様とお話の種になることもたくさんあります。スタッフとも患者様ともコミュニケーションが大切なんです。

色々工夫を凝らして挑戦を続けていらっしゃるようですが、逆に失敗談などはありますか？

失敗談という程の事は特にないですが、新聞や折り込みなどのクーポンを作った事があります。みなさんもういんな所で目にする一般的なクーポンです。ですが、これは反応が良くなかったです。やっぱり患者様はそういうもので来るわけではないんです。ご自分でネットを開き、院のHPを探して来られる方が多いです。

そこで問題になってくるのが、**どうやって自分の院のHPに辿りついて頂けるか**という事になります。そこでアメーバブログやフェイスブックの登場です。これらを活用し、しよちゅう更新する事によって検索順位がぐんと上がります。検索順位が上がるとい事は患者様が整骨院を探しているときに最初のページに出てきやすくなるので、見つけて頂きやすくなるわけです。こんな便利なツールを使わないなんてもったいない！取り入れていくべきです。

## 伝えたいという 気持ちから

藤本先生はブログや看板で工夫されている事が沢山あり、とても勉強になります。お仕事をされるにあたって気を付けている事はありますか？

動きを止めない事です。常に何かを発信するようにしています。

私たちの仕事は「待ち」の営業なので、毎日同じスタイルになりがちです。マンネリにならない様に日々に変化を出しています。気が流れる様に毎日の変化を大切にしています。インパクト（入ってくる情報）とアウトプット（発信する情報）のバランスを考えてブログなどを書いていきます。

例えば新規で院を探している患者様がいらっしゃるとして、その患者様の興味をひくようなブログを作っています。



スタッフのみなさん



ブログには書くことがもりだくさん。お料理の事など、日常にも役立つことがもりだくさんです。

HPだとそうしよちゅうは変える事ができません。そこでブログをひとつ作っておく。毎日の記事を書いてアピールできます。HPの変更には料金がかかります。ブログならその心配もありません。何年も更新していないブログなども見かける事があります。しかし、これでは患者様との信頼関係は築けないと思います。

先生のブログを拝見させていただきました。とても面白く、興味深いブログでしたが、そのインスピレーションはどこから得ているのですか？

## カルテの工夫

患者様の怪我の状態や治り具合、その他色々な事を書きこむカルテですが、皆様はどのように活用していますか？たとえばいつものカルテ以外にもう一枚、工夫を凝らしたカルテを作ってみてはいかがでしょうか？

患者様がどのスタッフとも気軽に会話ができる様、患者様の家族構成や、趣味、その他諸々を書きこんだ二枚を用意しておけばスタッフ同士の情報の

趣味	
話題	
近況	
その他会話内容	

共有にもなり、とても便利です。実際にそれらを作ったスタッフ同士の情報の共有を実践している先生方も少なくないです。施術の時会話のきっかけ作りや、共通の話題は技術以外で患者様に喜んでいただける一つの手段です。

貞友会のHPでは勉強会や日々の活動報告、特集記事、お買い得情報など、読んでお得な情報が満載です。

そこで、人材に関してのお悩みのそのアナタ！「開院しているけど、人材が足りない」、「一院で働きたいけど、どこを選べばいいのか分からない」、「一枚、工夫を凝らしたカルテを作ってみてはいかがでしょうか？」

## 時事ネタ



www.teiyukai.jp

「ご連絡はHPのお問い合わせフォーム、または貞友会までお電話下さい。」